

年度	2021	開講学期	前期	単位数	2	時間割コード	Q268
授業科目名	情報基礎			担当教員名	山口 明		
授業科目名：英語	Basic Computer Science						
重複科目名							
セット科目名							
開講情報		曜日	時限	時間割コード		【凡例】 ：当該科目 ：同時に履修すべき 科目（セット科目）	
	1	金	2	Q268			
主な対象学生	理工学部 物理・材料理工学科 数理・物理コース 1 / 理工学部 物理・材料理工学科 マテリアルコース 1						
科目の情報	科目の種類	教養教育科目		科目番号			
主な使用言語	Japanese						
履修上の条件							
担当教員情報	氏名（カナ）	山口 明（ヤマグチ アキラ）					
	担当教員名（英語）	Akira Yamaguchi					
	所属	理工学部					
	常勤・非常勤						
	研究室	理工 - 2 - 4 1 6					
	公式サイト	岩手大学 研究者総覧：http://univdb.iwate-u.ac.jp/html/220_ja.html researchmap：https://researchmap.jp/read0047062					
	個人サイト						
相談可能時間	火曜 2 時限						
他の担当教員							
キーワード							
学位授与方針との関係	基礎的な技能を習得するという方針に沿った講義内容となっている	学位授与の方針					
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現		
		80%	%	%	20%		
授業の目的	コンピュータ科学、数理・データサイエンスおよびコンピュータの操作の基礎を学ぶ						
到達目標	文房具として自由にパソコンを扱えるようにする。 ・電子メールの利用、ホームページの作成 ・エクセルを用いた科学技術計算 ・プレゼンテーション資料の作成 ・数理・データサイエンスの概要を学び、さらにAIを通して数理・データサイエンスを実際に体験する 以上が自在にできるようにするのが目標である。						
授業の概要	端末室にて各自パソコンを実際に扱いながら授業を行う。						
実務経験の有無と授業内容への反映							
授業の形式	講義 + 実習						
授業時間外の学習/予習・復習	適宜課題を出し、翌週までにメール等で提出する。						
詳細計画（各回または週の具体的な授業内容、目標など）							
回/週	授業内容			予習・復習		備考	
1	ガイダンス ・アカウント登録 ・履修申告・シラバスの利用法 ・授業意向アンケート調査			教科書の第1章を読んで予習する。 実際に端末を操作して復習する。			
2	メールの利用・ワードによる文章の作成・タイピング			岩手大学のメールの使い方について教科書で予習する。 実際に端末を操作して復習する。			
3	エクセルでのデータ処理とグラフの作成			エクセルの操作について、教科書等で予習する。 実際に端末を操作して復習する。			
4	エクセルでの大量のデータ処理とフィッティング			エクセルの操作について、教科書等で予習する。 実際に端末を操作して復習する。			
5	エクセルを用いた繰り返し計算			エクセルの操作について、教科書等で予習する。 実際に端末を操作して復習する。			
6	エクセルを用いた統計処理			エクセルの操作について、教科書等で予習する。			

6		実際に端末を操作して復習する。				
7	ホームページ作成I ・ホームページの作り方	ホームページ作成について、教科書等で予習する。 実際に端末を操作して復習する。				
8	ホームページ作成II ・HTMLの概要、階層構造	ホームページ作成について、教科書等で予習する。 実際に端末を操作して復習する。				
9	ホームページ作成III ・表、リスト構造、色	ホームページ作成について、教科書等で予習する。 実際に端末を操作して復習する。				
10	プレゼンテーション資料の作成I ・より見やすい資料とは	プレゼンテーション資料の作成について、教科書等で予習する。 実際に端末を操作して復習する。				
11	プレゼンテーション資料の作成II ・特殊効果の利用	プレゼンテーション資料の作成について、教科書等で予習する。実際に端末を操作して復習する。				
12	AIを用いた情報処理入門I ・画像変換のしくみ	AIについて、ネット等で予習する。 実際に端末を操作して復習する。				
13	AIを用いた情報処理入門II ・ディープラーニングのしくみ	AIについて、ネット等で予習する。 実際に端末を操作して復習する。				
14	プレゼンテーション資料の作成III ・まとめ方と優秀作品の発表	AIについて、ネット等で予習する。 実際に端末を操作して復習する。				
15						
16						
17						
18						
成績評価の方法と基準	評価方法	割合	評価観点			
	平常点	40%	関心・意欲	知識・理解	技能・表現	思考・判断
	課題	60%				
評価の基準（具体的に）						
出席と課題の提出状況が90%以上を可とする。それに加えてほぼ全ての課題を正しく解いている場合には優とする。さらに特に優れている場合には秀とする。						
履修における留意点						
教科書 / 教材						
参考文献						
コースリザーブ図書						